

☆ 高校1年生英語「文型その2・その3」

1. 本日の三大テーマ

「第四文型で第三文型に書き直せるものがあるが、そのパターンは()種類ある！」

「There is 構文は倒置構文で、第()文型である！」

「同じ意味でも英文が変われば文型も変わる！」

2. 本日の目標問題(チャレンジ1回目2分、2回目は先生の指示に従いなさい！)

(1) She made me breakfast. = She made breakfast ()().

(2) She showed me a picture. = She showed a picture ()().

(3) She asked me a question. = She asked a question ()().

(4) There are many flowers in the garden. の文型は？

(5) I was sad to hear the news. を同じ意味となる第五文型の英文にせよ。

3. 第四文型→第三文型の書換えパターン

(1) 私は彼にカバンを買ってあげた。(2通りで)

(2) 私は彼に英語を教えてあげた。(2通りで)

(3) お願いがあるのですが。(2通りで)

ポイントその1: 第四文型となる動詞は数が限られる(既習事項)!

ポイントその2: buy, make, sing を使って第三文型で書く場合、後ろは「物(+for+人)」となる!

ポイントその3: give, teach, show, send を使って第三文型で書く場合、後ろは「物(+to+人)」となる!

ポイントその4: ask を使って第三文型で書く場合、後ろは「物(+of+人)」となる!

注) cost, envy, save など書換えできない動詞もある!

→これらは今、暗記例文も含めて覚える! 口でブツブツ言って覚えよ!

→「本日の目標問題」の(1)~(3)を再チャレンジせよ! 制限時間1分!

4. 特殊な構文の文型

(1) There is a bag on the desk.

V S

この is は「いる(ある)」を表している。余計なものを除けばSVのみ残る第一文型である! なお、There is 構文は倒置構文と理解する!

(2) It seems that he is kind.

S V (S)

It seems that ~は第一文型と認識する。理由は、that 以下の部分がこの英文の意味上の主語であるから!

→「本日の目標問題」の(4)を再チャレンジせよ! 制限時間10秒!

5. その他の文型転換練習 (+文型を答えよ!)

(1) 私は彼女からの手紙を読んで嬉しかった。

I was ()() read the letter from her. (第○文型)

= I was ()() I () the letter from her. (第○文型)

= The letter ()()() me happy. (第○文型)

(2) 一週間には7日ある。

() () seven days in a week. (第○文型)

= A () () seven days. (第○文型)

注)存在を表す「いる(ある)」で **There is** 構文を使えるか、使えないかの区別は大丈夫?

(3) 彼はギターを弾くことができる。

He can play the guitar. (第三文型)

S V O

= He is able to play the guitar. (第二文型と捉える!)

S V C

(4) 彼は私たちの数学の先生だ。

He is () math (). (第○文型)

= He () us (). (第○文型)

= He () math () us. (第○文型)

※第五文型補足説明

例) 私はドアを開けっ放しにしていた。 I left the door open. 注)この open は形容詞

私は部屋をきれいな状態にしておいた。 I kept the room clean. 注)この clean も形容詞

(ポイント) open や clean には動詞の他に形容詞としての意味も存在する。因みに close にも形容詞としての意味があるが、それは「近い・親密な」という意味であって「閉じた」という意味で表現したい場合には “closed”(分詞) を用いなければならない。分詞≒形容詞である。

→「本日の目標問題」の(5)を再チャレンジしよう!

6. 本日のテーマ(空欄は最後に埋めよう)

「感嘆文で、()の後ろは形容詞+名詞+SV! そうでなければ()を使う!」

「否定疑問文等の答の Yes, No は日本語と真逆になる!」

7. 本日の目標問題

※(1)~(3)は英作し、(4)(5)は付加疑問文となるように空欄に適語を入れなさい。

(1) あの山々はなんと高いのでしょう。

(2) 君の妹は英語を話せないのですか。—いえ、話せますよ。

(3) 君は病気ではないですよ。—ええ、病気ではありません。

(4) Please open the door, () ()?

(5) Let's watch TV, () ()?

8. 感嘆文

「なんと」「なんて」が入る文で、それらの言葉が名詞にかかれば What、形容詞や副詞のみにかかるのであれば How を使う。その後ろの語順は肯定文と同一である。

(1) What a beautiful flower that is! = How beautiful that flower is!

(2) What a fast runner he is! = How fast he can run!

→What の後ろは名詞、How の後ろは形容詞 or 副詞。その後ろは主語＋動詞！

9. 否定疑問文・付加疑問文

(暗記例文)

(1) 君は忙しくありませんか？－いや、忙しいよ。

Aren't you busy? Yes, I am.

(2) 君の叔父さんはギターを弾けないのですか？－ええ、弾けません。

Can't your uncle play the guitar? No, he can't.

注) (1)について。否定疑問文等への答え方は返事と内容を切り分けて考えることが必要！「いや(返事) / 忙しいよ(内容)」という具合に。**先に考えるべきは内容**。「忙しい」となっているので、I am (busy)となり、内容部分に not が含まれないことから、返事は Yes となる。結果、日本語の返事と英語の返事に矛盾が発生する！

(3) That teacher speaks English, doesn't he?

(4) Your father is busy, isn't he?

(5) She can't swim, can she? －「いや、泳げるよ」 Yes, she can. 注)(1)(2)を参照！

(6) Please tell me the way to the station, will you?

(7) Let's play tennis, shall we?

注) (6)(7)について。命令文の付加疑問は、will you?を、Let's で始まる文の付加疑問は shall we?をつけるのがルール！

→「本日の目標問題」にチャレンジしよう！